



NWS通信

Nurse(看護)・Wellbing(福祉)・Special(専門)

第 73 号

平成26年9月1日

発行所

駒沢看護専門学校

岩見沢市9条西3丁目 〒068-0029

TEL (0126)25-0300番

印刷所 KK 組合印刷

善きことあれば、悪いこともある。



駒沢看護専門学校 学校長

加勢 道男

お釈迦さまは、はじめの説法に『四つの真理(＝四聖諦)』を示し、私達は「さまざまな苦しみ」に満たされていると語り、そして、人間の基本的な苦しみ「生・老・病・死」に、「愛する者と別離し、怨み憎らしい者と会い話さなければならぬ」「探し求めるものが得られない」「そして、私達は「いつも盛んに煩惱の炎を燃やしている」と加え「八つの苦しみ」を説かれた。経には、この世は火の宅(いへ)のように安らかでなく、人々は愚かさの闇につつまれて、むさぼり・いかりなどの煩惱に狂わされているという。私達の周辺には、身体が左右・前後・上下すべて対称になっています。私達が、見・聞き、嗅ぐ、味わう、触れることにおいても、言葉にしても、考え方も、相対的な関わりを持っています。自然も社会も政治も経済も道徳も宗教にもすべて相反することが絡み合って成り立っています。

ます。私達の愚かさとは、「琴は、糸の張りの緩急よろしきを得て、はじめてよき音色を奏でる」を忘れて、いたずらに「緩(ゆるみ)」を嫌って「急(つよく)」をだけを求め正しい音色を失うことが多くあります。此処で課題は、私達が「自身に都合よいかどうか」の勝手な尺度にのみに拘って、一喜一憂したり、悩んだり得意になったり、落ち込んだりして、心身の動揺に明け暮れることに気づかないでいることです。経に『ある家に一人の着飾った女が訪れ「私は人に富を与える福の神である」と告げた。主人は、喜んで家に上げ、手厚くもてなした。すぐ直後に、粗末な身なりをした女が入って来て「私は貧乏神である」と言うと、主人は驚いて追い出そうとした。すると、「先程の福の神は私の姉で、私達はいつも離れることはない。私を追い出せば、姉

も居ないでしょう」と告げて去った。やはり、福の神の姿も消えた。』とあります。私達が歩く時、前足といい後足というが、一瞬に一歩前へ進むと相反する状況になります。

私達は産声をあげ、この世の環境・習慣・風俗に動かされ「十人十色」の感受性を生み相対的意識が身につけ、知らぬ間に執着心を広げ苦悩の世界に追い込んでいます。

前に踏み出す力、考え抜く力
学びあう仲間作りを



駒沢看護専門学校 副学校長

吉田 真弓

保育科、看護第二科の両科がこの三月に長い歴史の幕を閉じ、校名も駒沢看護専門学校となりました。二十六年度は第六回生を迎え百八十一名の学生達が、学び舎を共にしております。日頃学生達と関わり続け、このように成長して欲しいと願うことを述べてみたいと思います。一歩前に踏み出す力を培って欲しい。それは主体性と実行力を意味しています。考え抜く力を磨いて欲しい。それは自ら意図的に課題を発見し、計画的に自ら解決してそこから新たな価値を見出すことです。最後に学びあう仲間作りをして欲しい。

しい。それは前向きな姿勢で自ら発信し、素直な心で柔軟に他者の意見を傾聴することです。看護師となる夢への道のりは安易な事ばかりではなく、厳しい学びの積み重ねです。時には悩み苦しみ看護師になりたいという将来の夢を見失うこともあるかと思いますが。しかし同じ目標をもつ仲間がいます。いつも傍に先生達がいます。仲間同士学年の壁を超え、共にお互いを尊重し規律を重んじ、交流を深めて助け合い、学び合う仲間作りをして欲しいと願っています。

入学して

6期生一学年 今野 有紀

希望と緊張に胸を膨らませて迎えた入学式を終えてから、早三ヶ月が経つ。ようやく自分なりに生活リズムが掴めるようになってきた。講義や実習、テストなど大変なことが多く挫けそうになることもあるが、クラスの雰囲気はとてもよく、皆励まし合い、協力し合いながら学生生活を送っている。



ている。

私は社会人枠でこの学校に入学した。長らく学業から遠ざかっていた為、つい最近まではノートの取り方や予習復習方法はおろか、試験勉強さえも悩んでしまうような状態であった。授業は進行が早く、入学前に想像していた以上に複雑で難しく感じた。細かくメモをとったり、積極的に質問し、わからないことはその場で解決するようにした。学習した内容が他の講義で関連付けて考えられた時は、知識となつて身につけていることを実感しとても嬉しい。自宅で毎日何時間も集中した学習をすることは容易なことではないため、日々の講義を大切にしている。

私は看護師を志す上で三つの「みる」を実践したい。一つ目はどんなことも最後まで諦めずに「試みる」こと、二つ目は知識や技術を実践に身につけていく中で、どんなときにも自分を「省みる」こと、三つ目は患者さんの身も心も「護り、看る」ことを忘れないことである。そのために今は、看護学生として為すべきことと

は何かをいつも念頭に置き、メリハリのある生活を心がけ、全員で看護師国家試験合格を達成したい。

夢への一步

6期生一学年 安田 敬宏

新たな環境で学習することに、期待や楽しみ、不安や緊張といった込み上げてくる様々な感情を抱き私たちは入学しました。はじめは緊張で



静かだった教室も日が経つごとに賑やかな空間になっていったのを実感しています。四月に行われた新入生歓迎会では、先輩方から一・二年生だった頃のテスト勉強の仕方や実習では積み重ねが大事だとアドバイスをいただき、不安が和らぎました。

講義や学内実習が本格的に始まって三ヶ月が過ぎ、看護を行うということがどういうことなのか少しずつ分かり始めてきました。今までの学習と違い、より専門的な知識や技術を身につけるため日々の学習がいかに重要かを感じる毎日であります。特に看護学概論Iの初めての講義で、資料に載っていることだけでなく先生が話す何気ないことも現場で役に立つ知識になると教わりました。また疑問に思ったことはすぐに解決する自ら積極的に学ぶ姿勢が求められると痛感しました。

日常生活行動技術ではベツドメイキングの技術評価があり、緊張しながらも練習した成果を出し切ることができました。

看護学生として過ごす三年



間は厳しく辛いこともあると思います。経験した様々なことを医療の現場で活かし、常に変化する状況に臨機応変に対応することのできる看護師を目指し全員で励まし合っていきたいと思っています。

多忙な学生生活、時々息抜き

5期生一学年 小川麻衣子

二年生になり、既に丸三ヶ月が経とうとしている。一年生の時とは異なり、四月から課題や自己学習を行う機会が多く、看護学生ならではの忙しさを実感している。

講義内容はより専門的な内容へと移行し、グループワー

クの数も増えた。グループとして一つの課題に取り組むことは、今後、看護師になる上で必要なコミュニケーション能力や、情報処理能力を身に付けることに繋がる。また、解剖生理や看護過程、各系統の各論などを学習し、九月から始まる成人看護学実習に向けて、専門知識を深めている最中だ。五月から国家試験対

策の学習も始まり、私たちは看護師という夢へ向かい、着々と準備を進めている。

日々、やるべきことは山積みだが、一方で楽しみもある。六月末の研修旅行だ。行き先は横浜と東京。横浜では、曹洞宗大本山總持寺に宿泊し、座禅を組むという貴重な経験をさせていただく予定である。東京では、デイズニールランド



や各々観光を楽しむ予定だ。研修旅行を励みに、みな毎日の課題に取り組んでいる。実習まで残り三ヶ月。必要な知識の習得と自分自身の成長の為に、今後ますます自主的な学習が必要となるだろう。地道に、時にはみんなで息抜きしながら、知識の蓄積に努めていきたい。



成人看護学実習に向けて

5期生・学年 佐々木拓郎

看護学校に入学し、あっという間に一年が過ぎました。一年時は初めて勉強する科目ばかりでテストも多く、課題が次々とあるため時間を効率よく使うことが大事だと感じました。その中で最も大変だったのが、初めての病院実習でした。病棟という慣れない環境で初めて患者さんを受け持ち、毎日の記録に四苦八苦しましたが、仲間と励まし合いながらなんとか乗り越えることができました。看護学校では、高校と違い「看護師」という同じ目標を持った仲間がいることで、よりお互いが支え

合い団結することができ、仲間との絆を一層深めることができる実習を通して改めて実感することができました。

二年生になってからは、学習内容もより専門的になり、覚えることもたくさんあるため、一年時の学習がいかに大事だったかを実感しています。授業では、グループワークでの学習もあり、そこでは



同じ目標や課題に対しそれぞれの意見や考えを出し合って一つの見解をまとめていくので、自分とは違った考えを聞くことで視野が広がったり、自分の意見を相手に伝える技術を養うことができます。これは実習でのカンファレンスにも繋がっていくと思います。

勉強以外にも二年生では、研修旅行や遠足、スポーツ交流会などの行事が予定されています。これらを通して更に仲間との交流や絆を深め、九月から始まる成人看護学実習に臨んでいきたいと思っています。



看護師を目指して

4期生三学年 篠原 礼

看護師を目指して本校に入学し、早くも三年目となりました。

私たち四期生は、四月から約半年間、領域別実習に取り組んでいます。一・二年生での講義や学内実習で培った経験を基に、看護師になる為、更なる知識や技術の向上を目指して日々精進しています。

また、自分の看護観について日々模索しながら実習に臨ん



でいます。

今までの実習とは異なり、小児や母性・精神・在宅等幅広い年齢層や健康レベルにある患者様の看護について学びを深めています。また実習中は、メンバー同士で悩みや不安を相談し合うなど、私たちにとってメンバーの存在は大きな支えとなっています。今までの実習では、目の前の事をこなしていくだけで精一杯でしたが、臨地実習では一日を大切にし、患者様の求めている事や患者様の目指す今後の姿を想定しながら、関わっていききたいと思っています。

看護師は人を相手にする職業である為、正確な知識や技術は勿論大切ですが、豊かな

人間性も看護を提供していく上で欠かせない事であると思います。

三年間を通して大きく成長が出来るよう、先生や実習先の指導者、家族へ感謝の気持ちを忘れずに、看護学生最後の一年を悔いなく過ごしていきたいと思っています。また、来年の二月に国家試験が控えており、四期生全員合格を目指して頑張っていきたいと思っています。

仲間と共に

4期生三学年 佐藤永梨花

私達三年生は、四月から約半年間の領域別臨時実習に取り組んでいます。領域別ということもあり初めてのことで、緊張と不安を抱えていましたが、実習メンバーと共に支え合いながら、患者様の個性に合わせた看護について日々学びを深めています。一・二年生で学んだ知識と技術を活かし、患者様が今



何を求めているのか捉え、患者様の退院後の状態を考え、家族の思いも捉えていくことの重要性を感じています。

実習の中で、仲間たちと協力をし、辛い時はお互い励まし合い、クラス全員で乗り越えています。また、お互いの実習先での情報交換が行えるようにノートを活用して、事前学習すべき内容や励ましの言葉を記し、クラス全員で乗り越えていることを実感しな



学友会の存在と使命

5期生・学年 小澤 将秀

学友会は学年を超えて学生間同士での交流を深めるために学校諸行事での企画・運営を行っています。

昨年、本校に入学し一年が経ちました。はじめの頃は、学校生活や実習についてなど何もわからず不安であった事を思い出します。しかし、学生が主体となる最初の行事である新入生歓迎会で先輩方からさまざまなアドバイスを頂いたことで不安が徐々に解消されていったことを今でも覚えています。また、スポーツ交流会では2クラス、先輩方と汗を流し学生みんなが楽しめるものでありました。今年は先輩方から受け継ぎ自分たちが中心となって行事を考えていこうと思います。

私達は、ご指導いただく教員、講師、実習先の看護師や患者様との出会いや学びを通して、知識・技術のみではなく、思いやりのある看護師を目指し、仲間と共に努力していきたいと思っています。

学友会 活動紹介

看護学生として考えると、医療にチームは不可欠で医師や看護師・医療従事者一人では成り立たなく、チームを構成するにはコミュニケーション能力が大切になってくるのだと思います。

年間の行事の中で仲良く楽しみながら交流を図っている、有意義な時間となるよう学生が主体となって盛り上げていくのが学友会の使命だと考えています。

学友会について

5期生・学年 藤井 航

私は、去年から続けてきた学友会も今年からは学友会会長として活動しています。

これまでの活動中で多くの人々に支えられ、多くのことを学ぶことができました。

学友会では、実習に向かう学生への激励や他学年との

交流などの行事を計画し、それを進行していきます。もっとも大変なのは、準備の段階です。行事の中で、レクリエーションや他学年との交流を企画します。レクリエーションでは、クイズゲームやビンゴゲームなどを行い、その勝者と参加者には景品を贈呈します。他学年との交流には、飲み物とお菓子を用意します。これらに必要な景品を選び、購入することも学友会が担当します。我が校は、去年から学生の人数が増えたことにより、これまでに行ってきた企画の仕方を変える必要がありました。今年は学友会

会長として指揮をとっていくことになるので、不安な気持ちがあります。しかし、それでも大丈夫だと思っています。なぜなら、今までの経験があることと、協力してくれる学生や先輩、先生の存在があるからです。一年目は、うまくいかず迷惑をかけてしまうことも多々ありました。学友会の運営は大変なところもありますが、行事を終えた後の学友会の学生たちは、胸をなでおろし、皆笑顔になるので、とてもやりがいがあります。今年も学友会を、皆と協力し合い元気に頑張っていきたいと思っています。



先生——言



看護教育で思うこと

小宮山政枝

看護教育の道に入り三年半になる。看護教育を理解するにはまだまだ未熟者であるが、教育における奥深さや興味深さを感じられるようになった。ここに記す。

学校の講義では、初めは九十分授業に耐えられるか不安に思った。しかし、実際学生に伝えたいことは結構たくさんあり、時間が足りないと感じることの方が多い。また、学生がどんな反応をするかを想像すると、授業準備も楽しく感じられることがある。当校は提携施設がない分実習において不自由を感じることもあるが、色々な施設の看護方針や看護体制、医療や看護を垣間見る楽しさがある。

今後常に心に留めていきたい点は、授業づくりや実習指導において当校の教育目的を常に意識すること、また、学生の自己効力感を高めて「やる気」を引き出すことである。このやる気スイッチを探し押

すことは難しい課題であると感じるが、先輩教員からの指導を受けながら日々力を尽くしていきたい。

「子供は親の背中を見て育つ」という諺があるが、看護教育においても共通した部分があるかもしれない。学生に指導する前に、まず自分を磨き成長しなければ教育者としては成り立たない。教育者として恥ずかしくないよう様々な経験を挑戦しながら自分自身も磨いていきたい。また常に看護とは何かを追及する姿勢を持ち続けたい。



学ぶことの楽しさ

高橋由香利

昨年四月に本校に入職し、二年目を迎えました。久しぶりに二十歳前後の学生と関わり、少々戸惑いも感じましたが、学生達は笑顔で応えてくれて、少しずつ新しい職場にも慣れることができました。

学生の学ぶ姿をみていると、自分が学生として学んだときのことを思い出します。二年

前まで私は夜間大学に四年間通学していました。入学した動機は、一度は大学生の経験をしてみたい、全く異なる分野を学んでみたいという理由からでした。

多くの学びの中で印象に残っているものは、「人間が見ている景色は目でみているのではなく、脳でみている」ということです。映し出される景色は、個人が認知したものを前提としています。だから、実習場面で教員と学生が同じ場面をみても同じものを見ているとは限らず、観察を見逃してしまうことがあります。この場合の認知は、学習や知識の違いであり、理解されていなければ、それは目にも映らないことになります。この話を聞いたとき長年の学生指導の疑問が少し解けた気がしました。

大学では宇宙科学や中国語などの興味深い科目や多くの心理学や教育学を学ぶ機会があり、教育の幅を広げるのに役立てることができたと感じています。そして、何より学ぶこと自体がとても楽しく、有意義な四年間を過ごすことができました。

今後は自分が得た学ぶことの楽しさを少しでも学生達に伝えたいと思います。

平成27年度 学 生 募 集 要 項 出願期間及び選考日時・合格発表

出願形態	試験日	出願期間	選考方法	合格発表
指定校推薦入試	平成26年12月6日(土)	平成26年11月17日(月)～ 平成26年11月28日(金) (当日消印有効)	(1) 面接 (2) 小論文	平成26年12月10日(水) 発送
一般推薦選抜入試			(1) 面接 (2) 国語総合(古文・漢文除く)	
一般Ⅰ期入試 社会人Ⅰ期入試	一次 平成27年2月7日(土)	平成27年1月13日(火)～ 平成27年1月30日(金) (当日消印有効)	(1) 国語総合(古文・漢文除く) (2) 英語Ⅰ・Ⅱ (3) 数学Ⅰ・A ※社会人は(1)のみ。(2)/(3)は免除	平成27年2月9日(月) 発送
	二次 平成27年2月16日(月)	面接(一次合格者のみ)		平成27年2月17日(火) 発送
一般Ⅱ期入試※ 社会人Ⅱ期入試※	平成27年3月8日(日)	平成27年2月27日(金)～ 平成27年3月3日(火) (当日消印有効)	(1) 国語総合(古文・漢文除く) (2) 英語Ⅰ・Ⅱ (3) 数学Ⅰ・A (4) 面接 ※社会人は(1)のみ。(2)/(3)は免除	平成27年3月9日(月) 発送

試験会場 駒沢看護専門学校校舎 〒068-0029 岩見沢市9条西3丁目1-15

※一般Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試は定員に達した場合、実施しないことがあります。詳細については入試係までお問い合わせ下さい。

※一般Ⅰ期・社会人Ⅰ期入試で不合格となった者は一般Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試は受験できません。